



2022年12月6日

ISO 認証 申請組織/登録組織の皆様へ

ISO/IEC 27001:2022 への移行について

1. 概要

10月25日に、ISO/IEC 27001:2022 が発行されました。

今後、認証審査で適用されている JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013) は、ISO/IEC 27001:2022 に移行されます。

組織様に置かれましては、JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013) から ISO/IEC 27001:2022 へ移行して頂く必要があり、移行期間は、改訂版の発行日から、その発行日を含む月の末日を起点とした3年後までとなります。

2022年	2023年	2024年	2025年
	ISO/IEC 27001: 2013 で 初回認証審査 可能期間		
	ISO/IEC 27001: 2022 移行期間 (ISO/IEC 27001: 2022 発行月の末日から3年間)		
ISO/IEC 27001: 2022 発行日 10月25日	2023年10月31日		移行期間終了 2025年10月31日

組織様が ISO/IEC 27001:2022 へ移行される際に移行審査を受けて頂く必要があります。

JIS Q 規格に関しましては、現状 2023年8月ごろに改訂版が発行される予定とのことです。

2. アームスタンダードの状況

審査機関として、移行の認定を 2023年10月31日までに取得する必要があります。現在、移行のための認定審査の準備を進めています。

また、改訂内容に関して、組織様への情報提供の準備も並行して進めております。

3. 組織様が移行のために必要な審査

3.1. 移行審査（組織様に受けて頂く審査）

- (1) アームスタンダードは移行審査を、サーベイランス審査、再認証審査と同時に、又は個別の審査として実施します。（移行認定の取得を完了した後）
- (2) 移行審査は、技術的管理策のレビューを行う必要があります、現地審査が必要になります。
- (3) 移行審査には下記の項目が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
 - a) 組織様が運用している ISMS の変更の必要性
 - b) 適用宣言書の更新
 - c) 該当する場合、リスク対応計画の更新
 - d) 組織様が選択した、新規又は変更された管理策の実施及び有効性



3.2. 移行のための追加の審査工数

- (1) 移行審査は、通常の認証審査と同時に実施できます。
- (2) 移行審査を再認証審査と同時に実施する場合の追加工数は、少なくとも 0.5 工数となります。
- (3) 定期審査と同時に実施する場合及び単独で実施する場合の追加工数は、少なくとも 1.0 工数となります。
- (4) 組織様の希望があれば、通常の審査の前に臨時の移行審査のみを実施することが可能です。